憲法守る若い力

山添拓

東京選挙区（改選数６）

大激戦となっている参院東京選挙区（改選数６）。日本共産党の山添拓候補（31）＝新＝は「参院選で憲法改悪を許すかどうかが問われています。弁護士として憲法を踏みにじる安倍政治を絶対に許すことはできない」と力を込めます。　北村隆志記者

９条改憲や安保法制＝戦争法について語らない安倍晋三首相。争点隠しに山添候補は正面から「戦争法は発動しないまま廃止を」と戦争法廃止と改憲阻止を訴えます。

東京選挙区は改選数が1増となりました。自民1、公明1、民進2の現職4候補のほか、2議席狙う自民は新人を擁立。おおさか維新の新人も立ち、山添候補は当落線上の大激戦です。

舛添要一前都知事の公私混同疑惑で、同知事を推薦した自民・公明両党への批判が高まっています。野党共闘も進み危機感を強める自公陣営は共産党批判を過熱させています。

選挙戦の焦点は、首都・東京で共産党の山添候補が初当選を勝ち取り、戦争法・改憲推進の自民、公明と補完勢力を、少数に追い込むことができるかどうか。とくに自民現職は党憲法改正推進本部副本部長として、自主憲法制定が持論です。

山添候補は「市民と野党の共同で安倍政治を終わらせる大きなチャンス。自公と補完勢力に負けるわけにはいかない」と力を込めます。

高すぎる学費、重い借金の返済に苦しめられる奨学金、ブラック企業…。若者代表の山添候補は「若い世代の力で政治を動かしていこう」と、若者たちが希望を持てる政治への転換を強く訴えます。

野党共闘のために真剣に努力してきた日本共産党と山添候補に、若手弁護士有志の会や、市民勝手連・YAMA部など、無党派の市民の応援の輪が広がっています。

フリーのIT技術者の男性（43）もYAMA部の一人。「ブラック企業とたたかう吉良さん（党参院議員）や山添さんのツイッターを見て、共産党を知りました。社会が悪くなるなかで、自分も何かしたいと初めて選挙の応援をしています」

東京での日本共産党の比例の過去最高票は、1998年参院選の約101万票です。志位和夫委員長は6月22日の新宿駅東口の第一声で力強く訴えました。

「首都東京では、比例代表で110万票以上、第1党に躍進し、この日本共産党躍進の大波の上に、31歳、若さ輝く山添拓さんの魅力を乗せて、山添さんを必ず国会に押し上げてください」

戦争法廃止と保育充実ぜひ

ママの会@板橋など
石川澄恵さん

安保法制（戦争法）が通ったとき、本当にまずいと思いました。自分が戦争に巻き込まれるだけでも嫌なのに、子どもも巻き込まれるなんて、二倍も三倍も嫌です。ママの会をフェイスブックで呼びかけたら、あっという間に賛同が増えて、いま四十数人です。

参院選では安保法制廃止だけでなく、子育て支援の充実も期待しています。日本共産党は認可保育園の抜本増設を掲げているので、ぜひ実現してほしい。

先日、ママの会で選挙カフェをやりました。6日には私の家で「紙芝居とカレーの会」をやって、子育て世代同士で気軽に平和のことを考えようと思っています。

共産党は弱者に寄り添う姿勢がはっきりしています。山添拓さんも若者に寄り添って、話をよく聞いていっしょに考えてくれる人だと思います。ぜひ当選してほしいと応援しています。